



2022年2月21日

各 位

会 社 名 佐 渡 汽 船 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 尾 崎 弘 明
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 9 1 7 6)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取 締 役 総 務 部 長 三 富 丈 堂
 電 話 0 2 5 - 2 4 5 - 2 3 1 1

2021年12月期通期の業績予想値と実績値との差異及び

営業外費用、特別損失の計上並びに剰余金の配当に関するお知らせ

2021年11月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した業績予想値と本日公表の実績値との差異及び営業外費用、特別損失の計上並びに剰余金の配当について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,879	百万円 △1,976	百万円 △2,234	百万円 △2,168	円 銭 △130.82
当期実績(B)	8,078	△1,641	△1,745	△1,671	△100.42
増減額(B-A)	199	335	489	497	
増減率(%)	2.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	7,690	△2,676	△2,755	△2,547	△177.85

2. 2021年12月期通期個別業績予想値と実績値との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,565	百万円 △2,099	百万円 △2,011	円 銭 △120.71
当期実績(B)	5,751	△1,777	△1,708	△102.04
増減額(B-A)	186	322	303	
増減率(%)	3.3	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	5,266	△2,678	△2,417	△168.27

3. 差異の理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の動向を厳しく見積もっておりましたが、2021年9月末において緊急事態宣言が解除されたことにより、観光及び帰省のお客様が想定以上に回復したことから、前回予想を上回りました。

営業利益につきましては、売上高が前回予想を上回ったことに加え、連結各社において費用の圧縮に努めたことにより営業費用が減少したことから、前回予想を上回りました。

経常利益につきましては、営業利益が前回予想を上回ったことに加え、新型コロナウイルス感染症に関する助成金等を助成金収入に計上したこと、その他営業外収益が想定を上回ったこと、想定していた費用が期ズレのため発生がなかったことにより、前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の理由により、前回予想を上回りました。

以上の理由により、売上高8,078百万円、営業利益△1,641百万円、経常利益△1,745百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△1,671百万円となりました。

(2) 個別業績

売上高、経常利益につきましては、(1)連結業績に記載の通り売上高が前回予想を上回ったこと、費用においても同様の理由により減少したことに加え、観光及び帰省のお客様が想定以上に回復したことから、関係会社の財政状態を勘案して引当てを行う関係会社事業損失引当金繰入額が想定より減少したこと及び想定していた費用が期ズレのため発生がなかったことにより、前回予想を上回りました。

当期純利益につきましては、売上高、経常利益が増加したことに加え、観光及び帰省のお客様が想定以上に回復したことから、関係会社の業績が想定よりも上回ったため、想定していた関係会社株式評価損の計上額が減少したことにより、前回予想を上回りました。

以上の理由により、売上高5,751百万円、経常利益△1,777百万円、当期純利益△1,708百万円となりました。

4. 営業外費用の計上について

当社は、関係会社の支援に伴う損失に備えるため、当該会社の財政状態を勘案して必要額の引当てを行っておりますが、2021年12月期決算において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化により、一部の連結子会社の業績が著しく悪化したため、関係会社事業損失引当金繰入額103百万円を営業外費用として計上しております。なお、連結決算においては消去されるため、連結決算の損益に与える影響はありません。

5. 特別損失の計上について

当社は、2021年12月期決算において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化により、一部の連結子会社の業績が著しく悪化したため、関係会社株式評価損16百万円を特別損失として計上しております。なお、連結決算においては消去されるため、連結決算の損益に与える影響はありません。

6. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月19日公表)	前期実績 (2020年12月期)
基準日	2021年12月31日	2021年12月31日	2020年12月31日
1株当たり配当金	0円	未定	0円
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

理由

利益の配分にあたりましては、今後の経営環境の変化と計画的な設備投資に備えて一部を内部留保し財務体質の強化に努め、収益の向上を通して株主には安定した配当を維持することを基本方針としておりますが、2021年12月期の期末配当につきましては、連結・個別の通期業績が赤字であることから、誠に遺憾ながら前回予想(2021年2月19日発表)の未定から無配とさせていただきます。

以上